



プレスリリース

広島県府中市 情報提供

令和5年9月29日(金)

教育政策課文化財室

電話 0847-43-7180

クラウドファンディングで話題の
‘かはく’館長と
‘岡大’教授の講演です！

第23回ふちゅう歴史フォーラム

ザ グレート ジャーニ

THE GREAT JOURNEY in FUCHU

—古墳時代の府中のセンパイから見る人類の大いなる旅—を開催します。



約1600年前の府中に
生きていた私達のセンパイ

2022年のノーベル生理学・医学賞を受賞したのは、古代DNA分析に関する研究でした。古代DNA分析では、原始・古代の人の骨から取り出したDNAの分析によって、今までとは異なった人々の交流や移動の状況が明らかにされています。そのため人類の進化の歴史を読み解く新しい手段として、いま世界中で注目されています。その注目の方法が用いられ、府中市元町に所在した山の神古墳群から出土した人骨の分析が行われました。

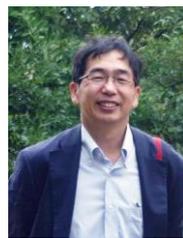
今回この分析結果をもとに、現在につながる、古墳時代の府中で生活していた、我々の遠いセンパイたちについて考えるフォーラムを開催します。

講演：「府中市山の神古墳群出土人骨の分析結果と親族」

せいけ あきら
清家章氏(岡山大学教授)

「古代DNA分析から見る日本列島人の起源と
古墳時代の府中に住んだ人々」

しのだ けんいち
篠田謙一氏(国立科学博物館館長)



清家章氏



篠田謙一氏

日時：令和5年10月15日(日)午後1時30分～4時30分

場所：ジーベックホール中ホール(府中市府川町70番地)

YouTube「国府まるひめチャンネル」でのライブ配信あり

対象：どなたでも

◎入場料無料、事前申し込み不要

問い合わせ先

府中市教育委員会 教育政策課 文化財室 0847-43-7180

【山の神Ⅰ号古墳の発見と調査】

1982.2.26 土取工事中に発見される。

1982.3.7～ 発掘調査実施。古墳時代前期の円墳。箱式石棺3基と人骨出土。

箱式石棺内から男女合葬の人骨が保存状態の良い状態で発見され話題に!

古代史復元6『古墳時代の王と民衆』株式会社講談社1989に掲載される!

【山の神Ⅰ号古墳人骨のDNA分析等の経過】**■研究について**

日本学術振興会平成30年度科学研究比補助金新学術領域

『ゲノム配列を核としたヤポネシア人の起源と成立の解明』(平成30～令和4年度)

研究代表者：国立遺伝学研究所教授 斎藤成也

研究分担者：藤尾慎一郎 国立歴史民俗博物館、大学共同利用機関等の部局等、教授

篠田謙一 独立行政法人国立科学博物館、その他部局等、研究調整役 ほか

(※肩書きは当時)

■山の神Ⅰ号古墳の資料提供から歴史フォーラムへ

2019.12.20 岡山大学清家教授から、DNA・年代測定用資料としてサンプル提供の依頼があった。

2020.1.17 岡山大学清家教授による、山の神Ⅰ号古墳人骨の実見調査と研究内容の説明。

山の神Ⅰ号古墳人骨が研究対象に選ばれた理由

- ・同一古墳から複数の人骨が発見され、被葬者の親族関係を明らかにするのに絶好の資料。
- ・保存状態の良い古墳時代人骨(山の神Ⅰ号古墳出土人骨3体)

2020.1.31 付け 国立科学博物館(副館長 篠田謙一氏)と国立歴史民俗博物館(教授 藤尾慎一郎氏)の連名による、正式文書依頼あり。(※肩書きは当時)

2020.3.9 山の神Ⅰ号古墳人骨の試料採取。(府中市教育委員会にて)

研究者[篠田謙一氏(国立科学博物館研究調整役副館長)、藤尾慎一郎氏(国立歴史民俗博物館教授)、清家章氏(岡山大学教授)]3名による採取と説明。

研究目的

- ・先史日本における人骨のDNAと炭素14年代をもとにしたヤポネシア人の起源に関する研究(ヤポネシア人とは、日本列島人の意味)と縄文人のゲノム解析。

試料の貸出(試料借用・分析期間：～2022年3月31日 約2年間)

- ・山の神Ⅰ号古墳 1号主体1号人骨：側頭骨のみ
- ・山の神Ⅰ号古墳 2号主体2号人骨：上顎左第2臼歯(M2)等
- ・山の神Ⅰ号古墳 2号主体3号人骨：下顎右第2臼歯(M2)等

※当初から、分析結果について市民向けに講演等で伝えてもらいたいことをお願いしていた。

2022.5.11 **試料の返却と分析結果の概要報告と追加分析の説明を受けた(府中市教育委員会にて)**

※研究内容・山の神Ⅰ号古墳の分析結果は

第23回ふちゅう歴史フォーラム『THE GREAT JOURNEY in FUCHU』にて!

- ・分析の結果を市民に還元するために、令和5年度の歴史フォーラムの講師を依頼して、了解を得た。
 - 人類学(ゲノム解析等)に関すること - 国立科学博物館 篠田館長。
 - 考古学(山の神古墳)のこと - 岡山大学 清家教授。

2022.11月 考古学の研究成果発表

清家章・坂本稔・瀧上舞「広島県山ノ神Ⅰ号古墳の年代的調査」

(藤尾慎一郎編『国立歴史民俗博物館研究報告 第237集』考古学データによるヤポネシア人の歴史の解明)

2023.4.18～ 第23回ふちゅう歴史フォーラム開催に向けて本格始動

篠田館長に、子ども向けの講座についても依頼。

2023.10.15 第23回ふちゅう歴史フォーラム開催

ザ グレート ジャーニー
THE GREAT JOURNEY
in FUCHU

— 古墳時代の府中のセンパイから見る人類の大いなる旅 —



僕たちは古墳時代の“府中”に住んでいたんだよ。
今回は、僕たちの骨の中に残っていたDNAを調べて分かったことを話してもらうんだ。これはね、2022年のノーベル賞でも注目された古代DNA分析っていう最新の方法で分かったことなんだよ。
君たちと直接おしゃべりすることはできないけど、1,600年前の“府中”で僕たちがどんな暮らしをしていたか、ちょっと聞いてみたくない？

講演会

1. 「府中市山の神古墳群出土人骨の分析結果と親族」
岡山大学学術研究院社会文化科学学域 教授 清家 章 氏
2. 「古代DNA分析から見る日本列島人の起源と古墳時代の府中に住んだ人々」
国立科学博物館 館長 篠田 謙一 氏

2023年10月15日(日) **入場無料**

13:30~16:30 (開場12:30)

ジーベックホール 4階 中ホール (府中市文化センター)

〒726-0004 広島県府中市府川町70

YouTube
ライブで配信あり



配信用チャンネル二次元コード

同日開催

国立科学博物館長による
スペシャルトーク

古代DNA研究を語る

— 人類の歴史はどのように変わったのか —

スピーカー：篠田 謙一 氏

日時 2023年10月15日(日) 10:30~11:30

主な対象 小学生・中学生・高校生 / 大人も楽しめるよ

第23回ふちゅう歴史フォーラム タイムスケジュール

10:00~	スペシャルトーク 受付開始
10:30~11:30	国立科学博物館長によるスペシャルトーク 「古代DNA研究を語る-人類の歴史はどのように変わったのか-」
12:30~	ふちゅう歴史フォーラム 受付開始
13:30~	開会
13:40~15:40	講演 (1と2の間に10分程度の休憩が入ります) 1. 「府中市山の神古墳群出土人骨の分析結果と親族」 岡山大学学術研究院社会文化科学学域 教授 清家 章 氏 2. 「古代DNA分析から見る日本列島人の起源と古墳時代の府中に住んだ人々」 国立科学博物館 館長 篠田 謙一 氏
15:40~16:00	休憩
16:00~16:20	質疑応答
16:30	閉会

〔講師紹介〕 (講演順)



岡山大学学術研究院社会文化科学学域 教授 せい け あきら 清家 章 氏

1967年生まれ。大阪大学大学院文学研究科前期課程修了、博士(文学)。
大阪大学文学部助手、高知大学人文学部助教授、同教授を経て、岡山大学学術研究院社会文化科学学域教授。専門は考古学。
人骨・副葬品・埋葬施設から古墳時代の親族のあり方を追求しており、近年はその成果を活かして、卑弥呼論を展開している。また、王権や地域首長研究を親族構造の視点から追求している。

【著書】『埋葬からみた古墳時代 女性・親族・王権』吉川弘文館2018年
『新装版 卑弥呼と女性首長』吉川弘文館2020年



国立科学博物館 館長 しの だ けん いち 篠田 謙一 氏

1955年生まれ。京都大学理学部卒業、博士(医学)。
産業医科大学助手、佐賀医科大学助教授、国立科学博物館人類研究部長を経て、現在、国立科学博物館館長。専門はDNA人類学。
日本とその周辺地域で発掘調査を行い、古人骨に残るDNAを分析して、日本人の起源と成立に関する研究を行っている。また南米アンデス地域での発掘調査を通じて、文化の変容と集団の遺伝的な変化の関係についての解析を進めている。

【著書】『日本人になった祖先たち-DNAから解明するその多元的構造-』NHK出版2007年
『DNAで語る日本人起源論』岩波書店2015年
『人類の起源-古代DNAが語るホモ・サピエンスの「大いなる旅」-』

中央公論新社2022年